2027年４月採用
東京大学「変革を駆動する先端物理・数学プログラム（FoPM）」
プログラム生募集要項［2027.４ 博士入学予定者用］

本プログラムの教育研究上の目的

本プログラムは、基礎科学の専門人材が世界を舞台に活躍できるよう、そのポテンシャルと競争力の最大化を目指す、国際的な博士前期後期課程一貫学位プログラムである。本プログラムを通じて、卓越した学生が科学技術や社会イノベーションに広く影響を与えられるような能力を身につけ、プログラム修了後にアカデミアやあらゆる産業界のセクターで指導的な役割を果たすことのできる博士人材に育成することを目的とする。

また、上記の人材育成を推進するため、外国人留学生や社会人経験者等の様々な教育的背景を持つ学生を受け入れる。

※プログラムの詳細は以下 FoPM のウェブサイトを参照のこと。

https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/FoPM/

１．申請資格

本プログラムの履修申請をすることのできる大学院学生は、本学大学院の理学系研究科「物理学専攻」「天文学専攻」「地球惑星科学専攻」「化学専攻」、工学系研究科「物理工学専攻」、数理科学研究科「数理科学専攻」のいずれかの**博士後期課程に、2027 年4月に入学予定の者**で、かつ、次の要件を全て満たす者とする。（注1・2）

- 上記いずれかの専攻で博士の学位を取得しようとする者
- 視野を広げ、異分野で活躍している研究者とも共同研究したい者
- 社会イノベーションに対する基礎科学のもつ影響力に関心を持ち、積極的にそれを学修する意欲のある者
- 本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解し、本プログラムに関わる活動等に協力する者
- 日本学術振興会（JSPS）特別研究員に応募し、採択された場合にも本プログラムに引き続き在籍することを確約する者（国費留学生は本要件から除外される）
- 海外における経験を得ることに意欲的であり、外部資金による海外派遣プログラムに積極的に応募する意思のある者
- 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者

（注1） 上記いずれかの専攻において 2027 年3月 31 日までに修士の学位を得る見込の者の申請は認めない。上記以外の本学専攻で学位を得る見込みの者、または上記いずれかの専攻において修士の学位取得後、民間企業や研究機関等での就業を経た上で、博士後期課程に 2027 年4月に入学予定の者は申請可能。

（注2） 他の国際卓越大学院への併願は認めない。ただし、理学系研究科の学生は宇宙地球フロンティア

国際卓越大学院プログラムとの、数理科学研究科の学生は数物フロンティア国際卓越大学院との併願は例外的に認める。

２．選抜方法

プログラム生の選抜は、申請書類（申請書、研究計画書、論文、教員の意見書）、大学院入試成績及び Qualifying Examination(QE)（研究計画書に基づく口頭試問（英語））の結果を総合的に判断して行う。QE は、**2027 年 2 月 1 日（月）を予定している。**詳細については、2027 年 1 月 25 日（月）を目処に申請書に記載された E-mail アドレスあてに連絡する。連絡がない場合には、理学系研究科学務課内国際卓越大学院事務局（wings.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）へ問い合わせること。

３．募集人員

研究科	専攻	募集人員
理学系	物理学	若干名
〃	天文学	
〃	地球惑星科学	
〃	化学	
工学系	物理工学	
数理科学	数理科学	

４．プログラム生の選抜結果発表及び採用手続き

（1） プログラム生の選抜結果の発表は、**2027 年3月8日(月)** 13:00 頃に申請者全員に対し、「Applicant ID」にて選抜の結果を申請書に記載された E-mail アドレスあてに電子メールにて送信する。Applicant ID は申請書類を受理した際に通知する。

（2） 採用手続書類は、発表と同時に採用者に対して電子メールにて送信する。採用内定者は、**2027 年3月15 日（月）**までに必要な採用手続（採用手続書類の提出）を行うこと。

５．プログラム生申請手続

（1） 申請書類

ア. 申請書

（2）の申請用ウェブサイト上で直接入力すること。

イ. 研究計画書

(3)の申請書類ダウンロード先にある所定の様式に所要事項を記入し、電子ファイル(ワードを換した PDF)を(2)の申請用ウェブページにある所定箇所からアップロードすること。

ウ. 修士論文・科学雑誌などに発表した論文の両方、又はいずれかの一方。

イ.の研究計画書、修士論文/学術論文・関連資料の順になるよう結合してアップロードすること。

※提出された論文が英語または日本語以外の言語で作成されている場合は、原本に加えて、英語または日本語による要旨の翻訳を必ず提出すること。

エ. 教員の意見書

(2)の申請用ウェブサイトに指導教員(注1)の氏名、所属、身分、メールアドレスを記入すること。申請が完了すると、ア. の申請書に入力された指導教員あてに意見書の入力を依頼するメールがシステムから自動的に送信され、指導教員が直接ウェブ入力することになる(注2・3)。

(注1) 原則として、博士課程入学後の指導教員とする。

(注2) 申請者のウェブ申請が完了しない限り、指導教員へ意見書の入力依頼が送付されないので注意すること。

(注3) 教員の意見書を受付期間内に受理しなかった場合は、申請自体を受理しないため、必ず指導教員にオンラインで提出が完了したかを確認すること。なお、指導教員が意見書を提出すると申請者にもその旨を通知するメールが送付される。

(2) 申請用ウェブサイト

https://apps.adm.s.u-tokyo.ac.jp/WINGS/

(3) 申請書類ダウンロード先

https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/FoPM/application/guidelines.html

(4) 受付期間

申請書及び研究計画書:2026 年 12 月 15 日(火)から 2027 年1月6日(水)15:00 まで。〔必着〕(注1)

教員の意見書:2026 年 12 月 15 日(火)から 2027 年1月8日(金)15:00 まで。〔必着〕

(注1) 受付期間終了直前は、サーバーが混み合う可能性があるため、余裕を持って申請すること。

6. 採用期間

プログラム生の採用期間は、**2027 年4月から 2030 年3月まで**とする。

2029 年夏頃に研究成果の報告書の提出及びその内容に関する口頭試問を含めた最終試験(Final Examination(FE))を受けて、試験に合格した場合はプログラム認定が行われる。その後に課程博士の学位を取得した場合に本プログラムが修了する。早期修了の場合にも、学位を取得した時点でプログラム認定が終了していれば、博士の学位取得とともに本プログラムが修了する。

7. 経済的支援

プログラム生として採用された博士課程の学生のうち希望者は、2027年4月1日から卓越リサーチ・アシスタント(卓越 RA)として委嘱し当該分野における研究業務を行い、月額18万円(注1・2・3)を支給する。**卓越**

RA として委嘱されることを希望する者は、5.（2）の申請用ウェブサイトの該当欄に採用年度（2027年度）における研究業務の内容を記入すること。

ただし、JSPS 特別研究員に採択された学生、国費留学生や本学独自の奨学金を受けている学生は、卓越 RA として報酬を受けることはできないが、本コースに応募することができる。

（注1） 卓越 RA として委嘱された場合、RA 制度を利用することはできないが、ティーチング・アシスタント（TA）制度を利用することは可能である。

（注2） 卓越 RA 業務による報酬は、税法上、給与所得として課税されるので、毎月所得税を源泉徴収の上、支給することとなる。そのため、年末調整や確定申告を行う必要がある。

（注3） 1月から12 月までの年収が一定の金額を超える場合、所得税法上の扶養控除を受けられないことや、親や配偶者等の健康保険の被扶養者から外れることがあるので、注意すること。なお、当該年収に応じては、次年度に住民税が課税される場合もある。

８．注意事項

（1） 受付期間内に必要書類が完備しない申請は、受理しない。

（2） 申請手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。

（3） 事情により、申請手続等について変更することがある。変更があった場合は、改めて通知する。

（4） 申請に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①履修者選抜（申請処理、選抜実施）、②採用者発表、③採用手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、採用者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（就職支援、授業料免除申請等）に関する業務を行うために利用する。

（5） 申請書における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡ってプログラム生であることを取り消すことがある。

９．問い合わせ先

東京都文京区本郷7丁目3番1号　理学部1号館東棟2階 275
東京大学大学院理学系研究科学務課内国際卓越大学院事務局
電話：03－5841－4340
Email：wings.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
※事務局閉室期間：：2026 年 12 月 29 日(火)から 2027 年1月３日（日）

2026 年 10 月